

二学期がはじまりました

8月24日(月)に始業式を行い、学期の中で一番長い二学期がスタートしました。今年は、5月に行った臨時休業8日間の遅れを取り戻すため、例年より短い32日間の夏休みとなりましたが、大きな怪我や事故もなく元気に登校し無事始めることができました。保護者の皆様や地域の皆様の温かい見守りがあってのこと、ご支援に感謝申し上げます。

さて、二学期は、たくさん行事や活動がある学期です。9月24日(木)には、小体連陸上記録会が無事開催されました。新型コロナウイルス感染症のため対外行事が軒並み中止になっていた中、他校との交流を伴う対外行事は今年度初となりました。この大会に向け放課後練習だけでなく、朝の活動やパワーアップタイムに時間いっぱい走る全校児童の姿や、休み時間にリレーのバトン練習を自主的に行う姿も見られました。自分の目標に向かって、練習中だけでなく日常の挨拶や整理整頓、授業中の姿勢や話を聞く態度、そして宿題をちゃんとやってくる等普段の学校生活の中でも前向きに取り組む姿が見られました。精一杯練習に取り組んで得たことや記録会に参加して得たことを、これからの生活に生かしてもらいたいと思います。

今年度は、感染症対応のため多くの制限を受けながらの教育活動となっておりますが、校内音楽会や小中合同運動会、学習発表会、修学旅行や遠足等、感染リスクを下げる対応を行いながら可能な限り工夫して行っていく予定です。また、保護者様からの学校評価アンケートにあった「一学期コロナ禍で減った授業を見る機会をできれば作ってほしい」という要望に応え、分散型の学年参観日を設けることにしました。

また、始業式で子ども達には、二学期はたくさん学校の行事があるので、それぞれの活動に自己目標を持って取り組んでほしいと、今年度の合い言葉「チャレンジ目標をもとう」を呼びかけました。先生達には、目標を持たせるだけでなく、次の行動に結びつけられるように振り返りをしっかりとさせてほしいとお願いしています。毎日の学校生活や学習に加え、様々な教育活動の中で子ども達が立てたためあて達成に向け、教職員がその子に応じた指導支援を行い、心も体も大きく成長し実り多き学期にしたいと考えています。(文責：小学校校長)

待望の小体連陸上記録会

9月24日(木)に海士中学校グラウンドで、島前小体連陸上記録会が開催され、本校から65名の児童が参加しました。コロナ禍の中、中止となった陸上大会に代わる記録会に向け、6年生

を中心に、声を出し合い、励まし合いながら一生懸命練習する姿がみられました。また、初参加の3年生は、上学年に支えられながら闘志全開で練習に励み、めきめきと力をつけていきました。(文責：三島)

◆記録会で一位となった児童◆

【3年生女子】	100m	島津 心春
	600m	島津 心春
【5年生女子】	100m	浅岡 志美
	800m	ラッセル・シドニー
	走幅跳	ラッセル・シドニー
【6年生男子】	100m	梶谷 結人
	1000m	田中 琉創
	走幅跳	服部 天汰
【全学年女子】	走高跳	栗木 琴愛
【全学年男子】	走高跳	梶谷 結人
【高学年女子400mリレー】	西ノ島小A	(三島・栗木・浅岡・ラッセル)



校内研究の取組

昨年度の島根県・西ノ島町学力調査の結果から、本校児童は算数科における「図形領域」に特に苦手意識や困難さを抱えていることが分かりました。そのため、ICT機器を活用することで視覚的に理解を促す支援を今まで以上に取り入れた授業を行い、図形領域の学習に対する意欲を高めるとともに、学習内容の確実な理解と定着を図っていきたく考えています。

今年度から、各学年の算数科にデジタル教科書、校内に電子黒板一台が導入されました。7月6日(月)には、5年生の「面積」の学習で、デジタル教科書と電子黒板を用いた授業を行いました。今後も、各学年でICT機器を用いた実践を重ねていく予定です。また、9月29日(火)にはICT機器活用方法について島根県教育センターより講師をお招きし、職員研修を行いました。

これから先は、一人一台のタブレットを持って学習する環境に変わってきます。児童の学びに効果的な活用方法を今後も模索していこうと思っております。本校は、教職経験の浅い職員も多いため、各学年の実践を互いに公開・参観する機会を設け、教職員全員で切磋琢磨し合いながら、研究に取り組んでいきたいと思います。(文責：佐々木)





西ノ島小学校 西ノ島中学校

西ノ島中学校

熱演！ふるさと演劇

9月19日(土)、ノアホールにおいて第14回「ふるさと演劇発表会」を行いました。44名の全校生徒が二班に分かれ、美田尻地区で行われている灯ろう流しを題材にした「さよならの今日に」と、町内にあるロシア兵の墓が作られるきっかけとなる話を劇にした「愛は海を越えて」を上演しました。

二学期が始まると、生徒たちはセリフ覚えや動きの練習だけでなく、大背景を描いたり、大道具や小道具を作ったり、音響や照明の合わせをしたりと、感動的な演劇にしようと協力しながら楽しく取り組みました。

演劇を上演するにあたって、地域の方のお話を聞いたり、実際にロシア兵のお墓参りに出かけたりと、地元の方のご協力のおかげで、ふるさと西ノ島のよさを再発見し、演劇につなげることができました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観客を保護者の方のみで制限させていただきました。そんな中でも、生徒たちは迫真の演技を披露し、来場された皆様にも満足していただけた発表会となりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。(文責：能海)

隠岐中学校弁論大会

9月8日(火)、隠岐島文化会館にて隠岐中学校弁論大会が行われ、本校から2名の弁士が学校代表として参加しました。二人とも夏休み中から原稿の推敲、発表練習を重ね、よりよい表現をめざして努力してきました。当日は練習の成果を十二分に発揮した、西ノ島中学校代表にふさわしい立派な発表でした。今回身につけた表現力を今後の学校生活でも発揮し、生徒のよき手本となってくれることを期待しています。

なお、審査の結果、長田快斗さんが全体の五席に入る優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。(文責：永原)



▲ 弁論大会



▲ ふるさと演劇

激闘！新人戦

10月2日(金)、3日(土)に、新人戦が開催されました。結果は次のとおりです。

【男子バスケットボール部】 優勝

決勝戦 対西郷中 82-20

【女子バレーボール部】 4位

1 試合目 対西郷中 2-1

2 試合目 対五箇中 0-2

3 試合目 対西郷南中 0-2

4 試合目 対海士中 1-2

【男子ソフトテニス部】

〈団体戦〉 1 試合目 対知夫中 敗退 1-2

〈個人戦〉 堺・富村組 対都万中 初戦敗退

西脇・関谷組 対知夫中 初戦敗退 1-4

浅岡・眞野組 対知夫中 初戦敗退 2-4

常盤・松本組 対都万中 初戦敗退 0-4

【女子ソフトテニス部】 初戦敗退 2-4

〈個人戦〉 武藤・松本組 対西郷中 初戦敗退 2-4

男子バスケットボール部が出雲地区大会の出場権獲得しました。



▲ 男子バスケットボール部

小中一貫教育

今回は三年前から試行錯誤しながら進めている小中合同運動会について紹介します。小中の児童会、生徒会が中心となつて行う大きなイベントであり思い入れも大きくこの活動を通して育てたい力も小学校中学校で違います。また、準備から当日の運営までたくさんのマンパワーを必要とし、昨年度からはPTAの協力もお願いしているところ です。

今年度は、昨年まで出された課題を解決し、児童生徒につけさせたい力をより明確にした運動会となるように、小中合同運動会実行委員会を一学期から立ち上げ、ねらいや運営方法、役割分担等を共通理解のもと進めています。(文責：小学校校長)